

きじむんの

とろ～ちゅいむにい～



—第3回—

～他大学との関係史～



はいさい!うちなーや ふみちん ちゅーくなてい いっぺー あちさいびーんやー。まーさる むんかでい くんち ちきやーに ちばてい いちゃびらやーさい! (沖縄は蒸し暑いですね。おいしいもの食べてスタミナつけて頑張っていきましょうね!)

さて、6月のテーマは「琉球大学と他大学との関係史」です!目で見える関係史と目では見えない関係史があります。目で見える関係史の1つ目は、大学本部前に並ぶ<植樹の数々>です。写真では「ハワイ大学マクレーン学長、二〇〇八年十月十四日来学」という文字が見えます。また、平成13年からラオスでの医学部砂川教授らによる口唇口蓋裂患者に対する無料巡回診療(手術)の実施などの取り組みが行われていて、ラオスとの繋がりで、ラオス人民民主共和国首相が来学された際の記念植樹も見られます。これは、琉球大学が他国および他国の大学と積極的に交流・連携を行っている証でもあります。特に、ハワイ大学関係の植樹が目立ちます。ハワイ大学との関係がいかに密接かということがこれらの植樹からうかがえます。



2つ目は、<留学生センター>です。当施設は、学内共同教育研究施設として1998(平成10)年に設立され、これまで他大学から多くの留学生を受け入れ、琉球大学からも多くの学生を送り出しています(他国→琉大H25年283人、琉大→他国H24年25人)。平成24年度の資料によると、71の他国の大学と何らかの協定を結んでいます。パラオやサモアなど太平洋島嶼地域の大学との連携の充実ぶりには驚かされます。留学以外にも私たちがセンターや留学生と関われる機会として、毎年7月頃に行われる「留学生祭り」や、チューター制度があります。チューターになるには、センターでの申し込みが必要です。



目で見えない関係史は、琉球大学は設立の際にミシガン州立大学の支援を受けて開学したという歴史があります。『琉球大学創立二十周年記念誌』(1970)によると、「1951.6月下旬 ミシガン州立大学と指導援助協定を結ぶ。その後、当大学から教授団が来学、大学の指導にあたった」とあります。ミシガン州立大学以外にも、ウェスタン大学やハワイ大学との交歓会や、招聘教授らによる講演会などが度々催されたよ

琉球大学附属図書館では、ハワイ大学の教員であった崎原貢氏の旧蔵資料を所蔵している他、昨年度からハワイ大学マノア校ハミルトン図書館が所蔵する沖縄関係資料「阪巻・宝玲文庫」のデジタル・アーカイブ化事業をハワイ大学との連携ですすめており、今年度中に公開する予定です。

このように、琉球大学と他国との関係は開学以来継続して行われており、このような歴史を知ること、皆さんが普段持っている大学への意識が少し変わってくるのではないのでしょうか。(沖縄資料担当:MS)